

もったいないを
ありがとうに

広がるフードドライブ活動

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食品があります。一方で、毎日の食に困っている人がいます。こうした中、広がっているのが「フードドライブ」。もったいないを、ありがとうにつなげる取り組みです。

食品ロス

毎日1人当たりお茶わん約1杯分の食べ物が捨てられている

セールのときに食品をたくさん買ったけれど、食べ切れずに賞味期限を迎えてしまった…。そんな経験がある人もいるでしょう。まだ食べられる食品が捨てられてしまうことを「食品ロス」といい、日本では年間約523万トンの食べ物が捨てられています。これは、毎日1人当たりお茶わん約1杯分（114グラム）の食べ物を捨てているということ。それって、もったいない。と思いませんか？



もったいない…

もったいないを ありがとうに変える 「フードドライブ」

一部のお店に専用の回収ボックスを設置、組合員さんご自宅に余っている食品などを持ち寄り、集めた食品を地域の支援団体に渡します



まだ食べられるのに行き場をなくした食品を集めて、生活に困っているなど支援を必要としている人に渡すのが「フードドライブ」です。食品ロスと貧困、2つの問題の解決策として広がっています。

貧困

日本国内の約7人に1人が生活に困っている

コロナ禍に続き多くの食品が値上がりし、毎日の食事を十分に用意できない人が激増しています。「貧困」と聞くと、開発途上国の問題では、と思う人もいるかもしれませんが、しかし日本では「飢餓」ほどではないけれど、日本国内のほかの人と比べて収入資産が少なく、生活が不安定な状態相対的貧困の割合が15.4%と、とても高くなっています。見た目には分からなくても、おなかいっぱい食べられない、食事の回数を減らしている、という人も多いです。



こまった…

出典：厚生労働省2022年
国民生活意識調査

コープデリが組合員と支援団体をつないでいます

コープデリグループでは、イベント会場などで食品を回収したり、一部のお店に専用の回収ボックスを設置して、組合員の家庭で眠っている食品を寄付していただいています。集めた食品は地域の社会福祉協議会やフードバンク団体などに寄贈。2022年度はコープデリグループ全体で40・2トンもの食品を寄贈しました。

※集められた食品を、生活に困る方や福祉施設などに届ける活動を行っている団体

フリーグループ「東京ヴェルディ」のライブライイベントを実施、来場者に食品の寄贈を呼びかけました



コープみらい

コープ八千代店（千葉県八千代市）では、近隣の小学生が校内で、集まったたくさんの食品を寄贈、支援が必要な方へ届くまでの流れも学びました



食品だけでなく、日用品や文具などにも広がっています

こうした取り組みは、食品だけでなく洗剤や歯ブラシなどの日用品、子どもたちが使う鉛筆やノートなどの文具にも広がっています。コープデリは、もったいないをありがとうに、これからも地域の団体と協力し、フードドライブ活動を広げます。

とちぎコープ



2023年からは食品だけでなく日用品の寄付の受付も始めました。お店のサービスカウンターや宅配センターで常時受け付けています。店頭イベントも開催し参加を呼びかけました

コープながの



2023年3月から、破袋などに備えて入荷している予備のパンを寄贈する取り組みがスタート。子ども食堂などで活用されるほか、フードバンク団体などを通じ必要としている方に届けられます

コープデリにいがた



地域のフードドライブ活動に協力の食品の寄贈。親世代への食料支援として提供されました

宅配でお届けできなかった食品なども寄贈しています

不良品や破袋などに備えるため、宅配では野菜や食品を予備分として多めに入荷しています。この予備分を使わなかった場合は食品ロスになってしまったため、各地のフードバンク団体などに寄贈。災害用備蓄食品などと合わせ、2022年度は56・4トン寄贈しました。またサイズ違いなどで組合員から返品された紙おむつ8490パック（2022年度）も乳児院などに寄贈しています。

支援団体からのメッセージ

特定非営利活動法人 Mam's Style

ご家庭で使ったまま、なかなか使い切れない洗剤・石けんなどの日用品を、コープぐんま コープ昭和店で受け取っています。収入不安にあわせ昨今の物価高騰は、経済的に困りのご家庭にさらに困難を与えています。寄付の品物を通じて、こうしたご家庭への相談の機会と生活の一助となっています。組合員の皆さまへ感謝申し上げますとともに、今後ともご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



コープ昭和店では、食品と日用品の回収ボックスを常設。寄せられた日用品はMam's Styleさんにお渡しし、地域でお困りの方に譲られます

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標11:

住み続けられるまちづくりを
つながっています。

